

04 大膳野町菅田町線(菅田町1丁目地区)について



Q.進捗状況と今後の予定について

〈答弁〉建設局長

大網街道との交差点から旧千葉外房有料道路の生実本納線に至る、延長約560メートル、幅員16.5メートルについて、都市計画法に基づく事業認可を取得したところです。

今年度は、用地取得を行うほか、関連する周辺道路の接続方法などについて、検討を行うこととしております。



強く要望いたしました



菅田駅南側の駅前広場や駅前道路をはじめ、都市計画道路の整備に積極的に取り組んでいただいていることを確認しました。

これらの整備により、より住みやすく、また、人が集う街として、今後も成長していくことを期待しておりますので、引き続き、事業の早期完成を目指して、取り組んでいただくようお願いいたします。

05 菅田駅前広場と駅前線の下水道工事について



Q.進捗状況と今後の予定について

〈答弁〉建設局長

駅前広場と駅前道路についてですが、歩行者の安全確保のため、用地取得した千葉信用金庫協の用地を活用し、暫定的な舗装整備を行うこととしております。

下水道工事についてですが、雨水管の整備に必要な用地取得が概ね完了したことから、今年度、大網街道の駅前交差点から駅前郵便局までの約300メートルの区間で、雨水管整備を実施することとしております。

06 塩田町菅田町線(菅田町地区)について



Q.進捗状況と今後の予定について

〈答弁〉建設局長

事業着手から時間が経過したことを踏まえ、道路の計画位置や幅員構成などの事業内容を、あらためてご理解いただくため、ユーチューブ動画などのSNSを活用し、広報していくこととしております。

いずれの事業においても、菅田駅周辺のまちづくりに資する重要な事業であることから、引き続き、早期整備を目指して参ります。



07 千葉市の農業問題について

Q1.若い農業者を確保・育成するための取り組みについて

〈答弁〉経済農政局長

若い農業者を確保する取り組みとして、昨年度刷新した新規就農者向けの「ニューファーマー育成研修」を実施するほか、農業者の後継者がスムーズに農業を継承できるよう、専門家によるコンサルティングや省力化・業務の効率化を支援する、市独自の「農業継承者経営発展支援事業」なども実施しております。

若い農業者が、さらなる規模拡大や経営発展ができるよう、「未来の千葉市農業創造事業」では、導入規模に応じて柔軟に活用できるメニューを用意するなど、若者の就農から経営安定、就農後の経営拡大、発展といったそれぞれのステージに応じた多様な施策を展開しております。



異例の京葉線9月ダイヤ改正で快速増発!

JR京葉線ダイヤ改正。市民、市長とともに三須市議を中心とする自民党会派が議会でダイヤ改正の再考を求め決議、意見書を可決。

【令和6年第2回定例会一般質問 質問・答弁要旨】

JR東日本が発表したダイヤ改正は、市民の生活に大きな影響を与えており、市民の皆様が、市長や議会にダイヤ改正再考をJRに要望するよう求めている。

市議会では都市建設委員会で調査活動を行い、令和6年臨時会において、JR東日本千葉支社長へのダイヤ改正の再考を求めるとともに市長と連携して改善を求める決議が、さらに国に対してもダイヤ改正の利便性確保に向けた意見書も可決された。

本市の京葉線利用者を対象としたアンケート調査では、自民党会派としても積極的にこのアンケートに協力し、14,849件もの回答をいただいた。実態として利用者の生活への影響が出ていることが見えてきた。約1割の方が京葉線沿線外への転居を実施又は検討していると回答した。

これら様々な活動の中、JR東日本から発表された令和6年9月から実施予定のダイヤ変更においては、平日朝の時間帯に上り・下りをあわせて5本の快速便が創設または復元されることになった。

全国的に見ても初の対応であり、市民、市長、議会、役所が一丸となり要望した結果であると考え。しかしながら、快速の復元は全体で26%と一部であり、帰宅時間帯を含め更なる復活が望まれるところである。



京葉線9月快速増発へ

きょう表明 所要時間「通勤快速並み」

JR東日本のダイヤ改正に伴う京葉線の快速増発小間題で、同社が9月から同線の朝の快速を増やす方向で検討していることが29日、関係者への取材で分かった。土沢壇JR千葉支社長が30日に開かれる定例記者会見で発表する見通し。関係者によると、増発するのは朝の上りの快速で、従来の快速とは異なる運行形態となる。蘇我―新木場間をノンストップで走る通勤快速は復活しないが、新たな快速は内・外房方面から東京駅までの所要時間が廃止された通勤快速並みに短縮されるという。

京葉線を巡っては、3月16日のダイヤ改正で、混雑緩和を理由に通勤快速の全線と朝夕の快速のほとんどが廃止され、各駅停車に切り替わった。これに対し、直通する内・外房線も含む沿線の県内自治体が「極端な変更だ」などと反発。ダイヤの再検討を求める要望書を同社本社や千葉支社に提出していた。

一連の反発を受け、土沢支社長は「思いが至らなかった」と「反省」を述べ、京葉線全体の運行体系について柔軟に検討していきたい」と、ダイヤの再改正を含めた対応を検討する方針を示していた。

千葉日報 令和6年5月30日

Q2.支援策の若手の活用状況について

〈答弁〉経済農政局長

令和4年度に創設した「農業継承者経営発展支援事業」については、補助対象者の50%が40代以下の農業者であり、省力化機械の導入に活用いただいております。

今後も、これらの補助事業に限らず、若い農業者の農業経営の安定や発展に向け、各種支援を実施して参ります。

強く要望いたしました



若い農業者を確保、育成するため、様々な支援メニューが用意され、活用も進んでいるとのことご答弁がございましたが、今後も、農業者確保から経営発展まで、ステージに応じた支援を時勢に合わせて充実させて頂きたいと思ひます。

みす和夫プロフィール



●今年度の役職等

千葉市議会議員8期、環境経済委員会、議会運営委員、千葉市廃棄物減量等推進審議会委員長、会派相談役、千葉市議会日中友好議員連盟会長、千葉県ボディビル・フィットネス連盟会長、社会福祉法人穂寿会評議員、社会福祉法人白雪会評議員、社会福祉法人みらい工房評議員

●これまでの主な役職

第67代千葉市議会議員、千葉市監査委員(2期)、千葉市農業委員、千葉市廃棄物減量等推進審議会会長(2期)、市議会教育未来委員長(2期)、経済教育委員会委員長、市議会保健消防委員会委員長(1期)、大都市制度・基本計画・市制100周年調査特別委員会委員

大きな窓によって明るく開放的な雰囲気が出された新議場に生まれ変わりました。

市議会傍聴の皆様と



新市庁舎ホールにて



市議会議場